



# 石狩市公立小中学校事務職員学校間連携会議

第146回(今年度第4回) 2025年9月25日(木)14:00～ 於: 石狩市民図書館



## 議 事

### 1. 議長挨拶

### 2. 経過報告

- 7月22日(火) R8年度高速印刷機組換額及び配分調整に関する市教委打合せ
- 7月28日(月) 2025年度夏季研修会(札幌エルプラザ)
- 7月31日(木) 石事協役員会
- 8月20日(水) 石狩市子どもの権利条例制定に関する研修会(校長会研修会)  
(高橋・高嶋参加)
- 8月28日(木) 石事協役員・推進員研修会
- 9月 2日(火) 石教研課題部会
- 9月 4日(木) 研究部会(二次研究協議会レポート検討)
- 9月 9日(火) 石教振第二次研究協議会
- 9月11日(木) 第74回北海道公立小中学校事務研究大会  
～12日(金) (ホテルライフオー・札幌)
- 9月18日(木) 石事協役員研修会

### 3. 協議事項

#### (1) 2026年度高速印刷機組換額について

口頭(資料は9/22に各校に送付済み)

#### (2) 2026年度配当予算の配分調整について

##### 《経過について》

財政財務活動の一環として、2015年度から行っています。  
過去の「増額要望が実現できていない」状態の時に、ならば「配分予算を有効活用させてほしい」という連携会議側の要望を市教委が受け入れてくれたことにより実現しているものです。毎年やっていますが、今年も行います。  
以上の経過から、予算を有効活用する観点で、非常に重要なとりくみとなります。ぜひ吟味したうえで提出をお願いします。

##### 《2023年度(令和5年度)からの改善点》

①教材備品費⇔需用費・役務費が可能です。  
※「増額したい理由」が必要となります。(減額したい理由ではありません)  
②使用料が増設されています。  
※定額で使用料を支払うものなどが対象となりますが、その形態によって「消耗品費」で執行する場合もあります。(財政課の判断により)  
年度途中において費目流用が可能ですので、その都度市教委と協議をお願いします。

※別添エクセルファイルに上書き入力して提出してください

提出先：[全校共有]→{令和7年度石教振専門部会}→[事務職員部会]

締 切：10月6日（月）厳守

（3）学校事務労働と「働き方改革」に関する実践報告の共有について  
（2025年石狩市学校間連携会議冬季研修会に向けたとりくみ）

別紙1参照

#### 4. 実践交流

#### 5. 連絡事項

## 学校事務労働と「働き方改革」に関する実践報告の共有について (2025 年石狩市学校間連携会議冬季研修会に向けたとりくみ)

学校における学校事務労働の確立や働き方改革の取り組みは、各校で多様に進められています。石狩市学校間連携会議においても 2023 年度夏季研修会から参加者が各自の実践をもちより、交流・共有し、互いに学び合うことで、より効果的な学校事務労働を追求してきたところです。

今回、2025 年度冬季研修会において、過去の実践報告と新たな報告を一体的に共有・活用する仕組みとして、CrewWorks というオンラインツールの導入を提案するとともにさらなる「働き方改革」を意識した学校事務労働の追求を行いたいと思います。

---

### 【提案内容】

#### ① 過去の実践報告の一括アップロード（事務局対応）

- これまでに提出された実践報告を事務局で整理し、CrewWorks に一括アップロードする。
- テーマ別で分類し、閲覧しやすい構成にする

#### ② 新たな実践報告の提出（参加者対応）

- 市内事務職員及び既参加者、2025 年冬季研修会参加希望者を CrewWorks のプロジェクトに招待し、各自の実践報告を投稿する。  
※すでに複数回の参加がある方からは実践報告を強く求めない。
- 報告には「所属・氏名・テーマ・概要」を記載し、資料を添付する。

#### ③ コメント機能による事前交流

- 他の報告に対して、質問・感想・気づきをコメント欄で投稿する。  
※今回、実践報告を提出されていない人は過去の実践報告に対し「質問・感想・気づき」のコメントを残す。
- 事前に意見交換を行うことで、研修当日の議論を深める

#### ④ タスク管理による準備の見える化 ※検討事項

- 実践報告提出、コメント投稿、発表準備などをタスクとして設定
- 担当者・期限・進捗状況を明確にし、準備の効率化を図る

#### ⑤ フィードバックの収集と活用

- コメントをもとに、研修当日のディスカッションテーマを整理

- 研修後も振り返りや改善案を CrewWorks 上で共有し、継続的な学びにつなげる
- 

### 【期待される効果】

- 過去の報告と新たな報告を一体的に活用できる
  - 事前の交流により、研修当日の議論が深まる
  - 業務改善のヒントを得る機会が増える
  - デジタルツール活用による業務の効率化が促進される
- 

### 【今後の進め方（案）】

1. 事務局による過去報告の整理・アップロード
2. 参加者のメールアドレス収集と CrewWorks 招待
3. 新たな報告の提出とコメント投稿の促進
4. 研修当日のディスカッションと振り返りの実施